

上中通信

令和5年度重点目標 互いを尊重し、聴き合い、学び合い、育ち合う生徒の育成

学校だより 9号
令和5年11月22日
発行:上湧別中学校

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果について

令和5年4月18日、第3学年の生徒を対象とした全国学力・学習状況調査が実施されました。本校の調査結果の概要についてお知らせいたします。

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、①全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に行われるものです。調査結果はあくまで学力の特定の一部であり、教育活動の一側面ですので、ご了承ください。

※グラフは、全国を100%としたときの

本校の正答の割合を表しています。

◆教科に関する調査(結果概要)

【国語】

- ・観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることを問う問題等で正答率が高い。
- ・自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書くことや、文章の中心的な部分を捉え、要旨を把握すること、目的に応じて相手の話を捉えて効果的に質問したり、聞き取ったことを基に自分の考えをまとめたりすることに課題が見られる。

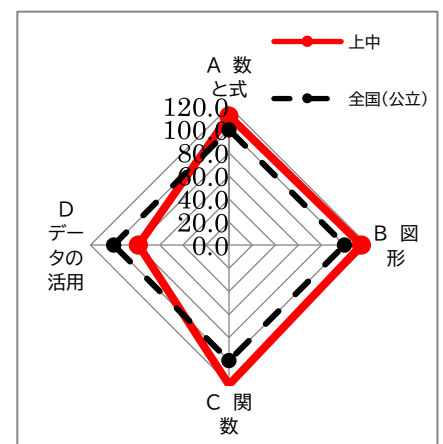
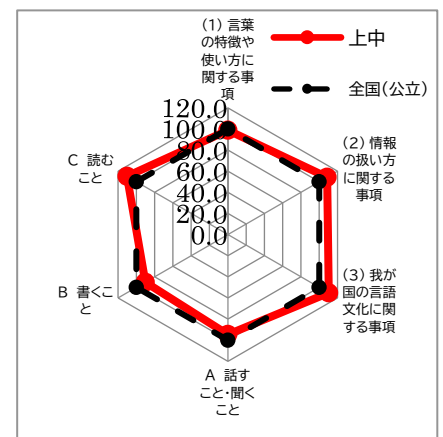
強みを活かし、弱みを克服するための具体的取組

- ・自分の考えを支える根拠としての具体例を示すとともに、互いの文章を読みあったり、自分が書いた文章を振り返ったりする活動を行い、よい点や修正した方がよい点について交流する。
- ・正確に要旨を捉えられるよう、文章の構造を踏まえキーワードなどに着目して情報を整理する。

【数学】

- ・与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取ることや、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することを問う問題等で正答率が高い。
- ・不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面において情報を分類・整理することや、複数の集団のデータの傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することについて課題が見られる。

裏面に続く ⇒



強みを活かし、弱みを克服するための具体的取組

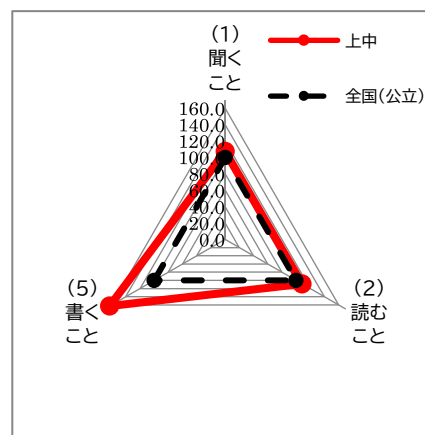
- ・データを収集して分析し、それを基に分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断するとともに、その理由について数学的な表現を用いて説明し合う場面を設定する。

【英語】

- ・関心のある事項について簡単な語句や文を用いて正確に書くことや、社会的な話題について簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることを問う問題等で正答率が高い。
- ・日常的な話題について必要な情報を聞き取ることに課題が見られる。

強みを活かし、弱みを克服するための具体的取組

- ・自分の置かれた状況を把握できているかどうか、何を聞き取ればよいかを理解しているかどうかを確認する。その上で、それらに関連する語句や表現に着目して、必要な情報を聞き取ることができるようにする。



❖ 生徒に対する質問紙調査(結果概要)

- ・毎日朝食を食べている、毎日同じ時刻に起床している、毎日同じ時刻に就寝している生徒が多く、家庭での基本的な生活リズムが身に付いている。
- ・授業で ICT を活用して調べたり意見交換をしたりする場面が多く、ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと考えている。
- ・授業がよくわかると答えた生徒が多い。
- ・困りごとや不安がある時に相談できる大人がいる、友人関係に満足している割合が少ない。
- ・家で計画を立てて勉強している生徒が少なく、学習時間が1時間未満の生徒が多い。

強みを活かし、弱みを克服するための具体的取組

- ・日常的な ICT 端末の活用や朝タイピングの取組を継続する。
- ・「学び合い」を取り入れた主体的・対話的で深い学びの授業を日常的に行う。
- ・放課後や長期休業等の学習支援による学習方法の指導や学習内容の定着を図る。
- ・日常生活や教育相談での傾聴、複数教員による日常的な観察など、意図的・計画的な生徒指導を行う。

【保護者の皆様へのお願い】

生徒質問紙調査では、近年、家庭におけるゲーム等の時間が長く、学習の時間が短い傾向が見られています。本校では学び合いの授業づくりをとおして生徒の主体的に学ぶ力や意欲を育ててまいります。ご家庭でもスマホや PC、ゲームの使い方や時間のルール等について話し合う機会を設けていただき、生徒が自律的に生活リズムを確立できるようご協力をお願いいたします。



日	曜	学 校 行 事	生徒会	日課	給食	部活	バ ス
1	金	1年生二者面談、1年生柔道授業		6	○	○	15:40 / 17:39
2	土	PTA ミニバレー大会					
3	日						
4	月	1・2年標準学力テスト	委員会	5	○	○	14:30/15:40/17/39
5	火	フッ化物洗口、合同講演会		6	○	○	15:40 / 17:39
6	水	1年生柔道授業		6	○	○	15:40 / 17:39
7	木	1年生柔道授業		6	○	○	15:40 / 17:39
8	金	職員会議		5	○	×	14:30
9	土						
10	日						
11	月			6	○	○	15:40 / 17:39
12	火	フッ化物洗口、研修日		5	○	×	14:30
13	水	職員会議		5	○	×	14:30
14	木	2年生二者面談		6	○	○	15:40 / 17:39
15	金	2年生二者面談、SC		6	○	○	15:40 / 17:39
16	土						
17	日						
18	月	新入生保護者説明会		6	○	○	15:40 / 17:39
19	火	フッ化物洗口		6	○	○	15:40 / 17:39
20	水	わくわく号		6	○	○	15:40 / 17:39
21	木			6	○	○	15:40 / 17:39
22	金	大掃除、冬休み前集会		5	○	×	15:40
23	土	冬季休業～1 / 15					
24	日						
25	月						
26	火	冬休み学習会					
27	水	冬休み学習会					
28	木	停電（増改築工事）					
29	金	学校閉庁日					
30	土	学校閉庁日					
31	日	学校閉庁日					

生徒・保護者の皆さんへ



心のホットライン

～望ましいコミュニケーションとは？～

現代は昔と比べてコミュニケーション能力の高さが求められる時代になっていますね。交通手段の発達やインターネットの普及によって、様々な価値観をもった人たちと出会い、やり取りをすることが増えたためです。自殺予防教育プログラムでは「より良いコミュニケーション」に触れ、望ましい人間関係について紹介しました。上手なコミュニケーションのためには下記のようなことが大切です。

- 自分の気持ちや考え方を見つめること
- それを相手に適切な形で上手に伝える



そうは言っても実行するのは難しいので、今回は具体的な方法をお伝えしたいと思います。

＜自分の気持ち、考え方をつかむ方法＞

みなさんの中にも

- ・腹が立ったらモノにあたる。
- ・いつも相手の意見に合わせてしまう。
- ・イライラしたら無口になる。

といった態度をとりがちだという人はいるのではないのでしょうか。こういった態度をとりつづけていると、周囲にも理解されないし、自分自身も疲れてしまいますね。そして自分の本当の気持ちや考えが分からなくなってしまいます。（みなさんは思春期なので、こういったことはよくあるかと思います）ただ「いつも」「毎回」だと上で説明したことの繰り返しになってしまいます。そういった状況から抜け出す、つまり自分の考えや気持ちを明確にするには「私は」を主語にして文章を作ってみると良いのです。

たとえば・・・

- ①「早くして」 → 「私は、あなたに急いで欲しいと思っていますよ」
- ②「ちがう」 → 「私は、違った意見をもっていますよ」
- ③「にらまれた」 → 「私は、にらまれたと思っていました」
- ④「うるさい」 → 「私は、うるさいと思っていますよ」

以上のように、頭の中で言いかえることによってその後の自己表現も違ってきます。それに相手の（周囲の人）せいで「どうにもできてない！」と思っていたことが実は自分で対処可能であることが分かりますよね。

日頃ムシャクシャしたとき、イライラしたときも、ひと呼吸おいて紹介した方法を使ってみて下さいね。こういったアサーティブな考えを日常生活で活かして貰えると嬉しいです。